

〈東文研・ASNET共催セミナー〉

日中「近代化」の意味と変遷

グローバルヒストリーの視点で

The meaning of "modernization" and its changes in Japan and China

「近代化」にあたる Modernization という概念は、欧米の学者が欧米本位で後進国を考察するときを使う概念である。日本では「近代化」という言葉がまったく違和感がなく使われているが、中国では「近代化」という言葉にマイナスのイメージが強くそれを使うのに抵抗感があるため、「現代化」を使っている。すなわち、同じ漢字の「近代化」という言葉であっても、それに対する日中両国の研究者及び一般国民の歴史認識のズレが生じたことは欧米本位の歴史観の限界を物語っている。



西周旧居

本研究は、グローバルヒストリーの視点で日中「近代化」について比較する試みの中間報告である。

- ◆ 日時： 2014年 7月 17日 (木) 17:00-18:00
- ◆ 報告者： 張 厚泉氏 (東洋文化研究所・訪問研究員)
- ◆ コメント： 園田 茂人氏 (東京大学 東洋文化研究所 教授)
- ◆ 会場： 東京大学 本郷キャンパス内 東洋文化研究所 1F ロビー

※ 報告は日本語で行われます。

東文研・ASNET共催セミナー

東洋文化研究所とASNETは毎週木曜日の夕方にセミナーを開催しています。どなたでもご参加頂けます。皆様のお越しをお待ちしております。詳しくはこちら: <http://www.asnet.u-tokyo.ac.jp/>

東大ASNET

検索



東京大学
日本・アジアに関する教育研究ネットワーク
Network for Education and Research on Asia

